

吉川市の全ての学校で

コミュニティ・スクールがはじまりました

コミュニティスクール
(学校運営協議会制度) とは？



コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

学校運営協議会を設置した学校を『コミュニティ・スクール』と呼びます。

学校運営協議会では
どんなことをするの？



学校運営協議会では、地域住民や保護者の代表の方々が、教育の当事者となって学校運営や学校への支援について、子供たちのために話し合いをします。

地域住民や保護者の方々の意見が学校運営に反映されることで、地域に根差した特色のある学校づくりが進んでいきます。学校運営協議会が、未来の地域づくりにつながっていきます。

コミュニティ・スクールが進むと、こんな効果があります



子供たちには

- ・地域全体が学びの場となり、学校内外の学習環境がよくなります。
- ・地域の大人をモデルとし、自分たちが学んだことを生かして生活や地域の課題を解決しようとしています。

保護者には

- ・地域みんなに見守られながら子育てをしているという、安心感が生まれます。
- ・学校や地域への理解が深まり、愛着が生まれます。

地域住民には

- ・学校を核とした地域の方々との一層のつながりにより、防犯・防災に強い安心・安全な地域が作られます。
- ・豊かな人生経験や技能を子供たちに生かすことで、生き甲斐が高められます。



学校には

- ・地域住民や保護者の理解と信頼を得て、充実した学校運営が実現します。
- ・学校・家庭・地域の適切な役割分担により、子供と向き合う時間の確保につながります。

学校運営協議会ではこんなことが話し合われました

ICT の活用が進んでいますね。
子供たちに情報活用能力の育成が重要ですね。

不登校解消が中学校区の共通課題ですね。どんな取り組みができるだろうか。

地域の子供たちには、こんないところがありますよ。